

和歌山県農業法人協会が現地研修会

近畿府県27人が 研さん深める

【和歌山】県農業法人協会（秋竹俊伸会長）はこのほど、有田市の榎早和果樹園の本社社屋にて「和歌山県農業法人協会現地研修会」を開催した。県域を超えた法人交流の活性化をめざし、秋竹会長が企画した和歌山県での新たな取り組み。当日は県内の農業法人関係者21人に加え、近畿府県から6人の農業法人が参加。

秋竹会長が講師として、同社の会社概要説明やこれまでの6次産業化の振り返り、人と組織づくりや未来に向けた提言



【和歌山】県農業法人協会（秋竹俊伸会長）は、質疑応答の時間では、人材育成や組織づくり、今後の販売戦略などについて、活発な意見交換が行われた。

また、同社の工場エリアや圃場、選果場、ショップなどの見学を実施。

参加者は三つのグループに分かれ、秋竹会長や各エリアの担当職員からの説明に耳を傾けた。

研修会終了後は、賛助会員の㈱日本政策金融公庫や農林中央金庫大阪支店、西日本グリーン販売㈱から、参加者に向けた情報提供があった。

（田村健伍）

秋竹会長は「農業経営のビジネスモデルが確立しつつある中、法人同士が学びあい、交流を深める機会を増やすことが重要。今後も会員が交流できる機会を増やし、地域農業の発展につなげていきたい」と話した。

「父が築いた技術伝え、地域貢献を」

三田市 前澤宏一さん



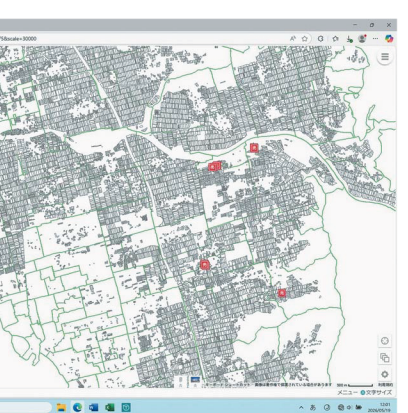
育苗ハウスで前澤さん

【兵庫】水稲育苗に携わる前澤宏一さんは自作の計測器で育苗ハウスごとに気温・湿度・日照量・土壌水分率を計測。いもち病を発生しにくい「最適な灌水スケジュール」を開発して、同社で使用する約1万枚の育苗苗の枯死や不良苗の発生を抑え、コスト削減を図るとともに、父の技術の可視化・共有化も実現し

成する「三田耕楽クラブ」メンバーも出席して快挙を祝った。

前澤さんは「これまで父一人の技術に依存してきたが、親の技術を可視化することで地元の若手農業者や、地域の農業に貢献したい」と語った。

（山口昭彦）



た。また、市の公式LINEでは、友だち追加後、トークメニューから農地に係る相談や情報提供が可能で、後日事務局職員が回答する。

農業委員会事務局は「事務の効率化を図るとともに、農地の有効利用、担い手の営農規模の拡大および新規就農を促進し、遊休農地および耕作放棄地の発生防止・解消を図っていきたい」と話す。（福井かれん）

水稲育苗の灌水管理技術で農水大臣賞

【滋賀】長浜市農業委員会（将亦富士夫会長）は、農地情報のデジタル化を進め、遊休農地の情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

青年 奮闘中 委員

▷42

能勢町 塚原洋平農業委員

【大阪】能勢町宿野の塚原洋平農業委員（48）は、水稲を中心に長ネギ、サツマイモなど約16品種を栽培している。高齢化により自作が困難となった所有者などから「来るもの拒まず」をモットーに農地を借り受けるうち、現在の営農規模となった。

委員としては現在1期目の。年長の委員とは世代は異なっても同じ農業者として、日々の農作業のことから委員の業務など率直に意見を交わしている。

塚原委員は、「担当地

区ではこれから地域計画の見直しを進めるが、合

意形成には息の長い話し合いが必要。営農条件の良い農地も多い地域なので話し合いをうまく進め、他地域にも波及できれば」と意気込む。

（沼田淳悟）

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農



瑞穂地区の連絡会議（奥の右から森田一三推進委員、北山重敏現地推進役）

府内の農業委員会は、地区連を拠点にして、委員が「地域に根ざした活動」に取り組み、さらに集落営農組織や新規就農者の課題解決なども含め、現場の取り組みをサポートするため、府農業会議の現地推進役が巡回支援を行っている。

京丹波町農業委員会は、来年2月に改選を迎えるが、今期の取り組みの成果を引き継ぎ、地区連の活動をさらに充実させていく計画だ。

（京丹波町農業委員会）

農地情報をDX化

長浜市が農地情報の ネット公開やLINE相談導入

【滋賀】長浜市農業委員会（将亦富士夫会長）は、農地情報のデジタル化を進め、遊休農地の情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

同市では、農業者の高齢化や担い手不足が課題となっており、農地情報となっており、農地情報を効率的に共有することで、農業を維持し、農地の適正管理を促進する考えだ。

貸したい・売りたい農

地域計画実現へ 地区連絡会議を拠点に連携展開

京丹波町農委會 「地域に根ざした活動」を

【京都】京丹波町農業委員会（丹波、瑞穂、和知）ごとに地区連絡会議（地区連）を設置するとともに、旧小学校

地区連では、地区内の耕作者や地権者の意向な

「みずみずしく、食べやすいのが特徴です」と話す奥田さん

また、JAや県内の農産物直売所へ出荷するほか、飲食店にも販売を行っている。今年は、学校給食への食材提供を行う予定だ。

「今後も自分が手掛けたナスをPRし、認知度を上げていきたい」と奥田さんは意気込む。

（木村将史）



「みずみずしく、食べやすいのが特徴です」と話す奥田さん

また、JAや県内の農産物直売所へ出荷するほか、飲食店にも販売を行っている。今年は、学校給食への食材提供を行う予定だ。

「今後も自分が手掛けたナスをPRし、認知度を上げていきたい」と奥田さんは意気込む。

（木村将史）

近

畿

近畿総局 和歌山県農業会議

和歌山市茶屋ノ丁2番1 和歌山県自治会館6階 073-432-6114

滋賀県支局 077-523-2439

京都府支局 075-441-3660

大阪府支局 06694-12701

兵庫県支局 078-391-1221

奈良県支局 074-222-1101